

わたなべニュース

2019. 1. 10 vol. 101

発行元：社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部

TEL：0798(74)2630 FAX：0798(74)7257

ホームページ：http://www.n-watanabe-hosp.jp/



あけましておめでとうございます。



社会医療法人 渡邊高記念会 理事長 佐々木 恭子

あけましておめでとうございます。

平成最後のお正月、2020年には東京オリンピック、さらにその5年後には大阪万博、華やかな話題の一方で未曾有の高齢者社会の到来という大きな難題を抱えての新年です。

毎年同じことを申し上げていますがやはり直面する現実は変えられません。

今後後期高齢者と言われる75歳以上の人口は毎年50万人のペースで増え続けます。65歳以上の単身世帯が全世帯の20%を超え、今後30年間に我が国の人口は1200万人減少すると言われています。国民の4割強が高齢者となる2025年はもう目の前の現実です。

向かえ受ける我々の方略はといえば、やはり皆様と力を合わせて助け合う地域社会を構築していく他ありません。相互扶助、共助の精神でしょうか。

皆様と力を合わせて地域の健康を守り生活を守る医療の実践は私どもの継続した課題であり

今年もまた【生活支援型医療】を目指す取り組みを開始しています。

一昨年に開設した『サービス付き高齢者向け住宅「ひだまり」』、『定期巡回随時対応型訪問介護ステーション』、『西宮渡辺心臓リハビリクリニック』もなんとか軌道に乗りました。

昨年6月、開院した『西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院』も小規模ながら急性期医療との密な連携のもと社会復帰に向かう成果が見え始めています。

『西宮渡辺病院』は昨年在宅支援病院となり、退院後の支援をより円滑に行うことのできる病院となりました。認知症リハビリも開始しました。『西宮渡辺心臓脳・血管センター』には附属訪問看護ステーションも併設されより確実な心不全予防への取り組みが可能となりました。

職員一同気持ちを新たにより一層の努力を決意しています。最後になりましたが、皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈りいたしますとともにより一層のご支援とご協力を

お願いいたします。

幸多き一年となりますように。



社会医療法人渡邊高記念会 副理事長 西宮渡辺病院 院長 佐々木 健陽

新年あけましておめでとうございます。

昨年は大阪北部に地震が発生し、さらに北海道では地震発生後、北海道全域がブラックアウトという停電もおこりました。また、台風は来ないという岡山に、台風水害が発生し、当地でもあわや大水害かと思われる台風に見舞われました。この台風では、西宮のあちこちが停電の被害にあいました。阪神大震災以来の自然災害の怖さを再度痛感しました。一方、社会面では年末に日産を回復させたカルロス・ゴーン氏の逮捕のニュースも飛び込んできました。昨年も、ばたばたと気の抜けない一年でした。

さて、私ども法人では、池田町の西宮渡辺心臓・血管センターの名称に脳が加わり、西宮渡辺心臓脳・血管センターとなり、前浜町福祉の郷に西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院を開設しました。西宮渡辺病院では、皮膚科を新設し、人工関節センター、脊椎外科センター、整形外科外傷センター、呼吸器科、リウマチ科と専門性の高い医療を地域の皆様に提供できるよう日々励んできました。

本年も、地域の皆さんに、安全に安心して医療介護が提供できるよう日々努力していきます。

本年もどうぞよろしく申し上げます。





あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひ致します。



西宮渡辺病院

西宮人工関節センター長

福岡 慎一



あけましておめでとうございます。2009年4月に開設した西宮人工関節センターは今年4月で10周年を迎えます。センター発足以後人工関節手術件数が延べ1200例を超えました。患者様達との交流の場である、人工関節友の会も今年は10周年記念会として企画しますので、皆さんの参加をお待ちしています。

昨年は講演活動として、大阪、東京で、地元では西宮において医師、患者などを対象に講演を行いました。学会活動としては東京、福岡、岡山、10月にはロンドンで口演発表など充実した1年となりました。今年も東京、札幌とフランスでの学会発表や英語論文を投稿予定です。

当センターはTKAとUKAのLearning Centerになっていますが、今年には更に多くの先生に講義の後に手術に入ってもらい、手術法を伝授していきたいと考えています。

本年も阪神地区の皆様へ専門性の高い医療を提供できるよう精進したいと思いますので、よろしくお願ひいたします。



西宮渡辺病院

内科部長 本郷 俊樹



若輩のころは、新年の抱負といっても、あまり考える必要もなかったように思う。だいたい決まりきったことで、認定医、専門医試験を受ける、新しい医療技術を身に着けるなど。特に考えることもなく浮かんで来たものですが、年齢を重ねるにつれ、新年の抱負と言われても、しばし考えるようになってきました。同級生が、大学教授や病院長を定年で辞める年になったので、無理からぬことです。今後は、右肩下がりになる体力、気力を温存して、少しでも長く医療に従事して、社会に尽くすことかなと考えております。



西宮渡辺病院

消化器外科部長 奥田 豊一



皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2016年4月新設の消化器外科は、2017年10月より常勤医の増員がありました。

この増員に伴い、これまでは困難であった緊急対応が可能になっただけでなく、より幅広い疾患、より重症の患者様にも対応可能となり、2018年は手術件数、対応患者数を大幅に増やすことができっております。

当科では急性虫垂炎、鼠径ヘルニア（脱腸）、胆石胆嚢炎に対する手術から90歳を超える方の癌の手術まで施行しており、より安全確実な、より負担の少ない手術のため、積極的に腹腔鏡下手術を導入しております。術後も、院内・関連施設などのリハビリテーション・介護施設と連携を取り健康な生活への復帰を目指しております。

2019年はさらなる体制の整備を予定しており、地域の医療により貢献できるよう邁進していきたいと考えております。

本年もよろしくお願ひ致します。



西宮渡辺病院

消化器内科部長 丁 秀鎮



新年明けましておめでとうございます。

私が当院に赴任して3年半、患者様により安心で安全、かつ苦痛の少ない検査をモットーに内視鏡スタッフ一同頑張っております。

定期的に内視鏡検査に受けることでいわゆる"手遅れの癌"はほぼ100%に近い確率で防げると考えており、検査をお受けになられた方へ再検査通知のお知らせを送らせていただいておりますが、昨年度約6割の方は再検査を受けておられない状況です。

できるだけ患者様のご都合に合わせた日程で検査をさせていただきますので、再検査通知が届いてる方、定期的な内視鏡検査をお受けになられてない方、まずはお電話を！！



あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い致します。



西宮渡辺病院

呼吸器内科部長 松浦 邦臣



あけましておめでとうございます。西宮渡辺病院呼吸器内科に赴任して3度目の新春を迎えることができました。昨年は小生が大変お世話になった大阪市立大学呼吸器内科、平田一人前教授が退官（その後病院長に就任）され、今年度は平成の元号が終わりを迎えるなど、時代の移り変わりを痛切に感じざるを得ません。ただ日々の診療はそんな感傷とは関係なく、愚直に誠実に向き合っていくしかありませんので、今年も精一杯頑張っていこうと思います。今年も一人医局ではありますが引き続きご指導の程よろしくお願ひいたします。

西宮渡辺病院

麻酔科部長 垣内 英樹



平成の最後の年、あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで麻酔科も500件以上の管理症例を無事に診療することが出来ました。一診療科の努力だけではカバーしきれない厳しい病院経営の流れの中にあつて、あらゆる病院、診療科が非常に厳しい状況に直面しています。私たち麻酔科も、「患者様に喜んで頂く」という基本に立ちかえて、地道に、ひとつずつ、目の前のできることから取り組んで参りたいと思います。院内の各診療科、パラメディカル、職員の皆様と協力し合つて新しい年へチャレンジしていきたいと思つております。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



西宮渡辺病院

看護部長 村上 明美



2018年の制度改革は、患者さんが自宅に帰るために、入院前から患者さん1人ひとりの事情や生活背景を理解する「入退院支援」が大きなテーマでした。本院看護師も家に帰つて生活するためという視点で、地域や在宅介護、ご家族の方々と一緒に話し合い、ご自宅を訪問する機会等も持つことができました。2019年は本院6階に地域包括ケア病床数の増加を予定しています。今年も地域の皆様に安心して生活していただけるよう、他部門・他職種と切れ目なく情報をつないでいきたいと思つています。どうぞ忌憚のないご意見、ご指導を宜しくお願ひいたします。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 管理者 槌田 昌平



平成最後の新年あけましておめでとうございます。昨年は地震・豪雨・台風などの天変地異による災害が多い年でした。当センターもいろいろな出来事がありましたが、皆様のご協力のおかげで何とか無事に過ごすことができました。今年は穏やかな年になることを願ひます。

今年には病院の北側に新棟（7F）が増築される予定です。これで、この数年で患者数・職員数が増えて活用スペースが手狭になっていた問題も解消されることでしょう。

5月1日には改元があり次の「新しい時代」が始まります。気持ちを新たにして、循環器疾患に特化した当センターの使命を自覚し、地域での役割を果たすべく、この一年も皆様とともに目標に向かって着実に歩んでいきたいと思ひます。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

西宮渡辺心臓脳・血管センター 院長 山室 淳



新年あけましておめでとうございます。お正月は、ご家族で暖かく過ごされた方、実家へ帰つた人や楽しい旅行に行った人もいらしたでしょう。病院で過ごされた方は本当にお疲れ様です。それぞれが良いお正月を迎え、昨年一年の疲れを十分に癒された事と思ひます。

昨年、西宮渡辺心臓脳・血管センターは大きな変革を遂げた年でした。救急疾患の対応はもちろん、心エコー図・カテーテル治療・心臓血管外科手術、脳外科的な手術すべてが地域に信頼されるようになってきました。西宮地域を中心とした皆様から頼れる良い病院へ成長できたのもスタッフのおかげと感謝しています。

2019年はさらに忙しくなる事を思う一方で、今まで通り一人一人の患者様を大切に、多くの地域の患者様へ質の高い医療提供をできる事を願ひています。

今年もさらなる皆様のご協力をよろしくお願ひします。



あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い致します。



**西宮渡辺心臓脳・血管センター
院長代理 兼 センター長 民田 浩一**



新年あけましておめでとうございます。

昨年、循環器内科副部長として山根先生、大動脈ステントグラフト血管内治療科部長兼心臓血管外科部長として中尾先生のお二人に新たに赴任いただきました。お二人が専門とされる循環器救急・集中治療および胸腹部大動脈ステントグラフトによる血管内治療領域をさらに充実させることができました。

また、地域における心臓リハビリテーションの拠点となることを目標に開設された上甲子園の西宮渡辺心臓リハビリクリニックに加えて新たに前浜に開設された西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院内の外来部門でも心臓リハビリテーションを開始し入院から外来心臓リハビリテーション移行率が大きく向上しました。

本年は、新たに別棟の新築工事が着工されます。より一層地域医療施設、介護施設との連携をはかり、超急性期から慢性維持期までの途切れのない一連の流れの中で地域で最も信頼される心臓・脳血管専門病院であり続けるように一同努力する所存です。本年も宜しくお願いいたします。



**西宮渡辺心臓脳・血管センター
副院長 吉田 和則**



**西宮渡辺心臓脳・血管センター
大動脈ステントグラフト血管内治療科部長
心臓血管部長 中尾 佳永**



2008年春、私が当センターに赴任し、心臓血管外科部門を開設し、10年を経過しました。

これもひとえに、病院執行部やスタッフの献身的で辛抱強いサポートや近隣病院の先生方のご指導のおかげであります。この場をお借りし、感謝申し上げます。

昨年からは、我々のチームにステントグラフト担当の中尾佳永先生も加わり、これからも、充実した診療が一層行えるよう、熱意だけは誰にも負けないように頑張っていきたいと考えております。

まだまだ、若輩者でご迷惑をおかけする事も多々あるかと存じますが、今後ともご指導の程、何卒よろしくお願い致します。

新年あけましておめでとうございます。

2018年9月より当センターに赴任して、4ヶ月が経過しました。センターの諸先生方、看護師、スタッフの皆様方のサポートを頂き、なんとか勤務させて頂いております。センターでは、主にステントグラフト治療を担当させて頂いております。徐々にではありますが、地域の諸先生方、患者様にも認識して頂ける様に努力して行きたいと思っております。またできる限り体への負担がかからない治療を行い、患者様には早期に社会復帰をして頂ける様に日々努力して行きたいと思っております。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 脳外科・脳卒中センター部長 大森 一美



謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年中は大変お世話になり誠にありがとうございました。病院名にも「脳」の一字が入り、これで当センターは名実ともに心臓と脳の専門病院となった次第です。心機一転あらためて診療に努めていく所存でございます。本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

西宮渡辺心臓脳・血管センター 循環器内科・救急科部長 徳田 剛宏



あけましておめでとうございます。

昨年、ラピッドカーによる病院前診療をはじめ、地域に対して十分救急医療として貢献できたのではないかと実感しております。それも、皆様の多大なご理解とご協力があったからであります。ただ、まだまだ課題は残っているのも事実であり、今年はさらに良質の医療を提供できるよう、皆様と力を合わせて取り組んでまいります。

救急搬送される患者様は、残酷なことに自ら医療機関を選ぶことができません。心血管緊急症は短時間で致命的となりうる性質をもっており、患者様やご家族は搬送された医療機関に命を委ねるしかありません。馴れ合いのない緊張感のある雰囲気、皆様と協力させていただき今年も取り組んでまいります。

今年も宜しくお願い申し上げます。

西宮渡辺心臓脳・血管センター 看護部長 丹下 知子



新年明けましておめでとうございます。昨年はICU、SCUに加えHCUが8床開設され、より機能的に急性期医療が展開されるようになりました。

また西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院の開院や西宮渡辺心臓脳・血管センター附属訪問看護ステーションが併設されたことによりグループ間で連携がより深まった年となりました。

病院の機能や環境が整い、今年度はさらに患者さまへ思いやりのある寄り添う姿勢を持ち地域の皆様に愛される病院を目指して、多職種によるチーム医療を展開し質の高いケアの提供が行えるようなお一層の努力をしております。本年もどうぞよろしくお祈り致します。



西宮渡辺脳卒中・ 心臓リハビリテーション病院

院長 庄盛 由紀夫



新年明けましておめでとうございます。

昨年6月に脳卒中急性期治療後の回復期リハビリテーション専門病院として開院しました。病院の立ち上げに尽力された箕倉院長先生が10月に退職され、11月にリハビリ専門医の井口先生が加わりました。西宮渡辺心臓脳・血管センターを初め近隣の病院の先生方から患者様を御紹介いただき誠にありがとうございました。落ち着いた雰囲気、病棟と明るく広いリハビリ室で、熱心なリハビリスタッフや看護・医師・関連スタッフが、患者様ができるだけ住み慣れた環境に安心して帰っていただけるよう診療を行っています。本年はより充実したリハビリテーションを受けていただくよう、さらにスタッフ一同努力していきたいと考えております。本年も宜しくお祈りいたします。



通所リハビリテーション デイケア西宮わたなべ

介護副主任 長村 由佳



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成30年6月に西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院が開院し、デイケア西宮わたなべは1階から4階へ移設となり六甲山を一望できる開放的なデイケアフロアです。ご利用者様の趣味や運動機能に合わせたリハビリや園芸療法なども取り入れるなど楽しく来所していただけるよう取り組んでいきたいと思っております。皆様お一人お一人のご協力を改めてお願い申し上げます。本年もどうぞ宜しくお祈りいたします。

西宮渡辺心臓リハビリクリニック 院長 前田 美歌



新年明けましておめでとうございます。

当施設は、2017年7月に西宮渡辺心臓脳・血管センター連携型施設として心臓リハビリに特化したクリニックとして開院し、1年目を迎えました。

地域の心臓リハビリテーション拠点として、西宮渡辺心臓脳・血管センターに通院中の患者様のみならず、他院通院中の心疾患患者様も多く通院いただいております。

心臓リハビリテーションとは、運動療法に加えて冠危険因子の是正、患者教育およびカウンセリングなどを含む維持期の生活をみずえた多職種による多面的・包括的な疾病管理プログラムです。急性期から回復期までの心臓リハビリテーションを継続することは、疾病予防や快適な生活を維持し、自分らしい生活をもたらします。『いつでも会いに行ける心臓リハビリテーション』を地域の皆様にお届けできるよう努めて参ります。本年もよろしくお祈り申し上げます。



介護老人保健施設 ハートケア西宮わたなべ

施設長 竹中 睦子



明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかなる新年をおむかえと思えます。昨年の11月より施設長に就任いたしました。「福祉の郷」のなかには、いろいろな施設がございますが、そのひとつひとつが、患者様はじめさまざまな方々のご尽力により成り立っております。それぞれ、時間が穏やかに流れる施設のように見えますが、職員一同、心をこめて命と向き合う日々を過ごしております。これからも、よりよい医療をめざしていく所存でございます。

今後とも、ご指導、ご協力の程よろしくお祈り申し上げます。



グループホームてまりの家 管理者 田中 智之



新年明けましておめでとうございます。

認知症介護は、食事・入浴・排泄という、所謂3大介護と言われるケアを中心としていく時代から大きく変わっております。ご利用者様個人の生活全体を見ながら、可能性、人間性指向のケアを行うことが認知症のケアであると思っております。

そのために、これからもてまりの家は、次の5項目を視点としたケアを実践していくべく、職員全員一丸となって邁進して参ります。

1. その人らしいあり方
2. その人の安心・心地よさ
3. その人にとっての安全・健やかさ
4. 暮らしのなかでの心身の力の発揮
5. なじみの暮らしの継続

本年もどうぞ宜しくお祈りいたします。

あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひ致します。

**西宮渡辺心臓脳・血管センター
附属訪問看護ステーション**

管理者 吉崎 しのぶ



新年あけましておめでとうございます。昨年7月より開設となり、循環器疾患・心不全のご利用者様がが増えてきています。訪問範囲も拡大し、ご要望にお応えできるように努めてきました。そしてご利用者様の信頼・安心につながるよう、病院・在宅医・各事業所との連携を強化してきました。今年もさらに、ご利用者様の心に寄り添える看護を目指し、精力的に活動していきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。



訪問看護ステーションむろかわ

管理者 堀田 礼子



昨年は、診療報酬・介護報酬の同時改定が行われ、2025年に向けての体制整備を図るべく医療・介護の更なる連携強化が求められる一年でした。そのような中、地震、大型台風などの災害被害による体験から、生活の視点での地域・多職種との連携・協働について再考するとともに重要性を実感しました。医療の場から生活の場へ、住み慣れた土地で地域の皆様が安心して過ごせるよう、生活に寄り添い、その人らしく生きる事の支援が出来るよう取り組みたいと考えています。

本年も宜しくご指導、ご協力の程お願ひ致します。



居宅介護支援センターむろかわ

管理者 住宮 祥太



新年あけましておめでとうございます。昨年も皆様方に大変お世話になりました。誠に恐縮ではございますが、本年も皆様にご協力をいただき、そのご協力いただいた以上の仕事で恩返しできたらと考えております。昨年以上に地域の要介護状態になってしまった高齢者や障害をお持ちの方々をはじめ、その方々を支援されているご家族に貢献できる事業所として、敬天愛人の精神で職員一同、努力してまいります。社会医療法人渡邊高記念会の介護相談窓口、「西宮わたなべ居宅介護支援センターむろかわ」を、どうぞよろしくお願ひ致します。

疾病予防運動施設 健康塾

課長 石田 仁



新年あけましておめでとうございます。高齢化の波にあわせて、各疾患を抱える利用者や介護の必要な利用者が増える中、職員の知識・技術の向上も図りつつ、より患者様に安心して利用していただける施設づくりに努めてまいります。医療/介護と地域を繋ぎ、より敷居の低い地域住民に寄り添ったサービスが提供できる施設として日々精進してまいりますので、今年もよろしくお願ひいたします。



訪問看護ステーションまえばま

管理者 清船 久見子



新年あけましておめでとうございます。昨年は診療報酬・介護報酬の同時改定が行われ、訪問看護についても今後の指標になるであろうと思われる改正がありました。病院から在宅へ、西宮市でも医療・介護連携の推進が行われています。在宅におけるチームケアの中では、医療と介護を結ぶ役割として訪問看護の活躍が期待されています。当ステーションも今年で4年目を迎え、西宮市中央～芦屋市までエリアが広がり多くの方々にご利用を頂いております。また、西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院も併設となり退院後の健康管理やリハビリテーションの継続ができる体制となりました。心の通い合う医療・介護の提供を目指して、今年も邁進してまいります。本年もよろしくお願ひ致します。



居宅介護支援センターはまかぜ

管理者 能登 孝博



皆さま新年明けましておめでとうございます。平成30年3月15日より西宮渡辺心臓脳・血管センターの川向いに事務所を移転し、『居宅介護支援センターはまかぜ』と名称を変更させていただきました。これまでと変わらずケアマネージャー3名で業務を担当しています。西宮渡辺病院をはじめ、西宮渡辺心臓脳・血管センター、西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院、法人関連施設、各関係機関と連携を図りながら日々業務に当たっています。

地域の方々から信頼され、安心してご相談いただける事業所として、スタッフ一同頑張っております。本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

特別養護老人ホームシルバートピア西宮／サービス付き高齢者向け住宅ひだまり

施設長 瀧内 陽平



【シルバートピア西宮】

新年あけましておめでとうございます。

シルバートピア西宮も本年1月に開設から7年が経過します。おかげさまで大きな事故もなく西宮市で初めての地域密着型特別養護老人ホームとして地域の皆さまに愛される施設として定着してきたと考えております。

本年も入居者様のご希望が叶うよう、ご家族様との絆を大切に、質の高いサービスの提供に職員一同努めてまいります。

皆さまには、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



定期巡回・随時対応型

訪問介護看護事業所わたなべ

管理者 北田 明香



新年明けましておめでとうございます。

定期巡回随時対応型訪問介護は24時間対応可能な訪問介護となっております。

日々の生活相談やお身体の不自由な点をお聞きし、その人にあったサービスを提案し提供しております。

今はまだ施設内でのサービス提供が多いところが現状ではありますが、地域の方々にも貢献できるよう尽力してまいります。

利用者様が在宅で健やかに安心して暮らしていけるよう職員一同努めてまいります。

まだまだ管理者として未熟な私ですが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。



西宮渡辺ヘルパーステーション

管理者 寺崎 富美



新年明けましておめでとうございます。

西宮渡辺ヘルパーステーションはサービスの質の向上を目指し活動してまいりました。

今年度も昨年に引き続き、皆様のニーズに基づいた身体介護・生活支援を提供できるよう法人内の居宅介護支援・訪問看護・通所リハビリテーションなど各事業所との連携を図り高い質のサービスを提供できるよう努めてまいります。

今年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

【サービス付き高齢者向け住宅ひだまり】

新年あけましておめでとうございます。

定員20名の小規模なサービス付き高齢者住宅となっております。

ご入居の皆さまには、いつまでも自立した生活を送ることができる我が家として「ひだまり」を選んで頂きました。

本年も笑顔を絶やさず、健やかに暮らして頂きたいと願っています。

スタッフ一同、皆さまが快適な生活を送っていただけるように努めてまいりますので今年一年、どうぞよろしくお願ひいたします。



グループホームむろかわ

施設長 小川 拓人



新年あけましておめでとうございます。

入居者様・ご家族様・地域のみなさまに支えられ「グループホームむろかわ」は昨年開設から丸15年経過しました。また、ご入居者様と元気に新年を迎える事ができ嬉しく思っております。

本年も、入居者様が楽しめるような外出の機会や、施設内のできる活動を行いながら、認知症高齢者の方々が入り慣れた地域で楽しく、いきいきと元気に暮らせるような「生活の場」を提供できるよう、医療と連携を図りながら職員一同努めてまいりますので、ご支援・ご協力の程、宜しくお願ひ致します。



西宮市中央在宅療養相談支援センター

管理者 白方 芳子



明けましておめでとうございます。

私たち社会医療法人渡辺高記念会西宮渡辺病院は、昨年11月より西宮市から委託を受け、西宮中央圏域に在宅療養相談支援センターを開設し1年が過ぎました。地域住民の皆様が入り慣れた地域で安心して自分らしい生活を送ることが出来るように「医療と介護をつなぐ役割」として事例検討会や研修などを開催し、医療介護関係者が顔の見える関係ができるように活動させて頂いています。医療と介護が連携し安心して暮らせる地域を目指し、今年も邁進してまいります。まだまだ未熟ではございますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

地域医療の発展を目指すパートナーシップを締結！

社会医療法人渡邊高記念会とシーメンスヘルスケア株式会社は、先進的な画像診断・治療装置による高度な医療サービスの提供をはじめ、AIを含む医療デジタルプラットフォーム（ネットワーク経由でアクセスするITサービスが動作する環境）を基盤にした情報共有を通して、地域医療のさらなる発展を目指すパートナーシップを締結しました。

今回のパートナーシップ契約は、高度急性期から在宅医療を一元的に地域に提供する当法人が理想とする医療と、シーメンス社が取り組む医療機関の質向上という理念が一致したものであります。

急速に高齢化が進む日本では、2025年に団塊の世代が75歳を迎え、医療・介護の需要が最大化すると見込まれています。急性期から回復期、慢性期まで患者の状態に見合った病床で、より良質な医療サービスを受けられる体制作りが急務となっており、都道府県ごとに地域医療構想を定めています。

当法人は、西宮市および芦屋市を診療圏として、高い専門性と地域密着型の医療を追求してきました。その中で、西宮渡辺病院および西宮渡辺心臓脳・血管センターに対し、シーメンス社製の最新2管球CT装置、ハイブリッド手術室用の血管撮影装置、3テスラMRI装置など、先進的な画像診断システムを幅広く導入してきました。今後も高度な医療機器やシステムの導入をはじめ、地域医療におけるそれらの最適な運用についての支援や地域交流まで、多岐にわたるサービスを共に提供していきます。
(社会医療法人渡邊高記念会 副本部長 藤原新吾)



すいすい健康講座 11月・12月開催報告

11月【開催場所：西宮渡辺病院】

11月の講座は西宮渡辺病院 皮膚科 内村友佳先生による『巻き爪について』でした。

巻き爪の多くは、正しくない爪の切りかたや歩きかたにより、爪の縁に力がかかなくなり両端が巻いて発症します。正しい爪の切り方は横にまっすぐ切り、爪の先端と指の先端が同じ高さにし、爪の角が引っかからないように滑らかに整えます。歩きかたが正しくない人の多くは、足の指が地面と接していない浮いた歩きかたをしています。そして足底の指の付け根部分にタコができていて、指先ではなくタコの部分で地面をけて歩いています。その治療は自分に合った靴を履き靴底に中敷き（インソール）を入れて指が浮かない正しい歩き方をする必要があります。

巻いてしまった爪に対しては矯正が必要です。

当院では巻き爪に対し人工爪やVHOワイヤーといった矯正方法を施行しております。

皮膚に爪が刺さってしまっている陥入爪の患者さんには陥入している爪をチューブでカバーするガター法を施行しております。どちらも15分程度の日帰りで治療可能です。

12月【開催場所：西宮渡辺病院】

12月の講座は西宮渡辺病院 呼吸器内科 松浦邦臣先生による『インフルエンザを理解しよう』でした。

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスに感染して起こる感染症です。インフルエンザウイルスにはA型、B型、C型があり、ヒトに流行を起こすのはA型とB型だけです。普通の風邪と異なり、強い感染力、全身症状、ときに重症化を引き起こすため、免疫力の弱い幼児や高齢者ではとくに注意が必要となります。予防には、うがい、手洗い、ワクチン接種のほか、流行期には不要・不急の外出を控え、感染機会を減らすことも重要です。それでも罹患してしまった場合は、十分な水分補給と休息を取りましょう。発症から48時間以内であれば抗インフルエンザ薬も有効です。一方小児・未成年のインフルエンザ患者では、稀に飛び降りなど異常行動が起こることが問題となっています。特に発症から2日間は一人にさせないよう注意しながら、戸建てであれば1階の部屋で過ごしてもらう、マンションであれば窓の施錠をしっかりと行う、ベランダに面した部屋では休ませないなど、事故防止のため具体的な対策が必要です。



法人関連施設

●社会医療法人 渡邊高記念会 ●西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 / 西宮渡辺心臓リハビリクリニック / ハートケア西宮わたなべ福祉の郷 / 定期巡回・随時対応型訪問看護介護わたなべグループホームむろかわ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり / すくすく保育 / 訪問看護ステーションむろかわ / 居宅介護センターむろかわ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 健康塾 / 西宮市中央在宅療養相談支援センター / 西宮渡辺心臓脳・血管センター附属訪問看護ステーション

●社会福祉法人 高明会 ●シルバートピア西宮 / 訪問看護ステーションまえはま / 居宅介護支援センターはまかせ



わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。
※ 当院各階詰所・1F受付に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。

編集